

# Doubles Championship 2013

信和ゴルフグループ・第4回ダブルスゴルフ選手権

GOLD PROGRAM 16  
FOR THE MEMBER

2013.4.29 MON

## PAIRING & TIME [組み合わせおよびスタート時間]

2013.4.22 時点

1st Tee		[アウトコース]	TIME	10th Tee	[インコース]	
山田 諭 信楽	前田 修作 信楽	十一 宏 JC	藤原伊知郎 JC	7:58	中嶋 謙介 JC   富井順一郎 JC	小川 毅 瑞陵   鈴木大治 瑞陵
中村 友一 JC	中村 由美子 JC	若井 保伸 JC	太田 美保 JC	8:05	橋本 彰夫 JC   上杉 美穂 JC	吉積 知典 滋賀   矢田 栄子 滋賀
村田 愛夫 JC	清水 裕也 信楽	田中 京春 SC	作田 喜弘 SC	8:12	鈴木 竜介 SC   森田 亮 SC	大本 敏之 JC   浅野 浩和 JC
戸田 弘 JC	浅田 知志 JC	濱口 昭弘 信楽	下城 宗冬 信楽	8:19	有木 義博 JC   坂根 誠 JC	山下 等 信楽   大西 康司 信楽
藤本 保雄 JC	稲垣 栄七 JC	杉山 和彦 信楽	奥 正一 信楽	8:26	田邊 鉄雄 SC   加山 昌志 SC	野島 英俊 JC   奥 進一 JC
小林 秀起 SC	織田 雅之 SC	中尾 武司 JC	迫田 喜昭 JC	8:33	奥田 重夫 JC   秋本 隆繁 JC	安藤 英二 信楽   森地 貞光 信楽
木村 学 信楽	前 宏和 信楽	古川 昇 滋賀	今江 高志 信楽	8:40	米田 智一 CH   杉本 憲一 CH	森下 謙二 JC   谷口 尚 JC
新田 進 滋賀	番浦 明香 滋賀	西本 久美子 JC	三田 健司 JC	8:47	谷村 浩志 SC   川崎 正太郎 GV	徳永 博志 滋賀   伊藤 広志 滋賀
堀内 春美 信楽	内田 昌恵 信楽	後藤 大和 JC	長田 信人 JC	8:54	村上 珠生 JC   北畠 慶康 JC	田村 欣樹 滋賀   田村 和子 滋賀
竹林 明 SC	西口 則雄 SC	木下 繁夫 JC	谷口 美子 JC	9:01	城野 俊宏 滋賀   宮原 光司 滋賀	増田 能子 JC   伊藤 昭宏 JC

会場/ジャパクラシックカントリー倶楽部  
キングコース

- ①大会当日の開場時刻はAM6:30です。スタート時刻の30分前までにご来場ください。
- ②スタート時刻の5分前にはティーインググラウンドへ集合してください。競技の説明を行ないます。
- ③使用ティマークはコンペティションティ（オレンジ）とする。
- ④欠席者があった場合、組み合わせを変更する場合があります。
- ⑤競技終了後、表彰パーティ（コンペルーム）にご出席ください。ペアの2人ともがご欠席の場合は入賞資格を失う場合があります。

# Doubles Championship2013

## 第4回 ダブルスゴルフ選手権

### 【競技の条件】

#### 1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会 (JGA) ゴルフ規則及び本大会ローカルルールを適用する。

#### 2. 使用球

競技者の使用球はR & A発行の公認球リスト (JGAホームページ: [www.jga.or.jp](http://www.jga.or.jp)) に記載されているものでなければならない。この条件の違反の罰は、競技失格。

※本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。

#### 3. 使用クラブ(ドライビングクラブ)

競技者がラウンド中に持ち運ぶドライバーは、R & Aルールズリミテッド (USGA版) の発行する最新の適合ドライバーヘッドリスト(※)に名前が掲載されているクラブヘッド(モデルやロフトによって識別される)を有していなければならない。この条件の違反の罰は競技失格。

※「最新の適合ドライバーヘッドリスト」はJGAホームページからR & Aのホームページにアクセスして確認することができる。ただし、適合ドライバーヘッドリストは週1回更新されるので注意のこと。

#### 4. ホールとホールの間での練習禁止

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで2打の罰を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、そのホールで罰を受ける。

※練習グリーンでのパッティング (アプローチグリーンでのチップング含む) 練習を除く (ハーフ終了後は、時間の許す限り練習グリーン・アプローチグリーンでの練習を認める。)

#### 5. プレーの一時中止と再開

①プレーの一時中止(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b,c,d に従って処置すること。

②険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときには、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。(ゴルフ規則6-8b 注)

③プレーの一時中止と再開の合図について

中止、再開の合図はゴルフ場によって異なるので、険悪な状況になった場合はゴルフ場からの案内に注意すること。

#### 6. 移動

各競技者は正規のラウンド中、乗用カートの使用を認める。

#### 7. 険悪な気象条件のため競技が中止になった場合

競技中止の時点で9ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。なお、9ホールでの競技成立の場合は、アウトスタート・インスタート各々の最少スコアチームを上位とする。タイスコアが発生した場合は、アウトスタートは9番、インスタートは18番からのカウントバックにより上位を決定する。

#### 8. タイスコアの場合

チームのスコアがタイとなった場合、OUT・IN別々のスタートであっても、IN(N0.10 ~ N0.18)からのマッチングスコアカード方式により順位を決定する。

#### 9. チーム内の1人が棄権した場合

プレーの途中でチームを構成する1人が不慮の事故や病気等によって棄権した場合、9ホールを消化していれば残りの1人のスコアを採用することで正式記録とする。9ホールを消化していない場合、そのチームのスコアは参考記録となる(1人でプレー続行しても構わない)。

#### 10. プレーのペース

ハーフラウンドを原則2時間15分とし、前組との間隔が1ショット以上開き、且つ各ホール通過のタイムパー(規定時間)を10分以上超過した場合には警告を与える。警告後も改善されない場合はショットのタイム計測を行い、遅延の原因となるチームには1回目はそのホールに2打のペナルティ、2度目は失格とする。

#### 11. 競技終了時点

本選手権は、競技委員による成績発表がなされた時点で終了したものとみなす。

### 【競技方法】

- 2人1組のチーム戦とし、18ホールズフォアボールストロークプレーによって行う。
- それぞれが各自の球をプレーし、2人のうちどちらか少ない方のスコアをそのホールのスコアとする（パートナーの1人が1ホールのプレーを終えなくても罰はない）。チームのスコアが確定した時点で、パートナーのボールはピックアップすること。
- ティショットはスタートホールにおいてはドロー表の順番とする。次のホール以降はチームスコアの良いチームがオナー権を持ち、チーム内であれば、任意の打順でプレーすることができる。ただし、2打目以降は原則とし遠球先打でプレーをする。遠球先打の例外として、グリーン上においては戦略上、必ずしも遠いボールからパッティングしなくてもよい（例：カップに近いパーパットと遠いバーディパットが残った状況で、パーパットを先に決めてから、バーディパットを打ってもかまわない）。
- プレーヤーは同じチーム内のパートナーおよびキャディからアドバイスを受けることができる。なお、他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、あるいはアドバイスを求めた場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2打の罰を付加する。
- 故意に違う方向に打つなど、故意にパートナーの援助をするプレーをした場合はそのホール2打の罰を付加する（フェアプレーの精神）。
- 処置について疑問のある場合や、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について自信がない場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーして、そのホールを終えることができる。第2の球を打つ行動を起こす前に、競技者は（イ）規則3-3を援用すること（ロ）規則上許されればどちらの球をカウントしたいかの2点をマーカーに前もって知らせなければならない。どちらの球のスコアも同じであった場合も含め、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。競技者がそれをしなかった場合、競技失格となる。※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員の裁定をあおぐこと。

### 【ローカルルール】

- ①アウト・オブ・バウンズの境界は白杭、修理地は青杭または白線、ラテラルウォーターハザードは赤杭にて標示する。
- ②下記の内容はJGA規則第24条の②「動かせない障害物」とする。樹木の支柱、排水溝およびその蓋、U字溝、マンホール、道路及び縁石、固定席、水道栓、避難小屋、目土柵、防護ネットおよびその支柱、看板、標識、枕木、電柱、ゴムマットなど。
- ③グリーンから2クラブレンジス以内の所にある固定スプリンクラーヘッドからの障害に対して、球がそのスプリンクラーヘッドから2クラブレンジス以内の所にあり、しかも球と

ホールを結ぶ線上に介在している場合は、ホールに近寄らない至近距離にドロップすることができる。

- ④樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
- ⑤ハーフ終了後は、時間が許す限り練習グリーン（アプローチグリーン含む）での練習を認める。
- ⑥クローズドの標示のある予備グリーンおよびそのカラーはプレー禁止の修理地とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、ゴルフ規則第25条1-b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
- ⑦下記のホール間において、白杭を相互に越えた球はOBとみなす。  
NO.2～3・NO.4～5・NO.4～13・NO.6～7・NO.11～12・NO.11～15・NO.12～15・NO.17～18
- ⑧NO.1、NO.9の池に続いている林も赤杭をもってラテラルウォーターハザードの一部とする。
- ⑨電磁誘導カート用の2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則24条2-b(i)の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。

### 【注意事項】

- 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、ハウス内に掲示して告知する。
- チームを構成した1人が当日欠席した場合、その残された1人はドローの同伴競技者としてマーカーをつとめるケースがある（その残された1人はマーカーを兼ねた参考記録の選手として出場できる）。また、マーカーをつとめるプレーヤーが欠席の場合、事務局からマーカーがでる場合がある。
- グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- メタルスパイクシューズは使用禁止とする。
- プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。（ゴルフ規則6-7）
- 練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場においては備付の球を使用すること。
- コース内は携帯電話の持ち込みをしないこと。
- スタート5分前には必ずティインググラウンド周辺に待機すること。
- 9ホール終了後、クラブハウスに立ち入ることができる。
- 18ホール終了後、速やかにスコアカードを提出すること。